

令和4年度第6回安塚区地域協議会次第

日時：令和4年7月27日（水）午後7時から

場所：安塚区総合事務所 3階 301会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 協議事項

- (1) 安塚区地域協議会委員視察研修について
- (2) 大・浦・安地域協議会委員研修会について

4 報告事項

- (1) 安塚中学校、浦川原中学校及び大島中学校の統合方式について

5 自主的審議事項

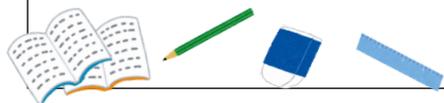
- (1) 住みやすい安塚の在り方について

6 その他

- (1) 次回開催 令和 年 月 日（ ）午後 時 開会

7 閉 会

統合方式を「新設統合」に決定しました



令和4年7月19日 上越市教育委員会 教育総務課

これまで、5月19日(木)と6月30日(木)の2回にわたり、浦川原中学校への「編入統合」か、浦川原中学校の校舎を使用し新たな校名で開校する「新設統合」かについて、参加者と上越市教育委員会で意見を交わしました。

その結果、市としては、「新設統合」が妥当であると判断しました。これにより安塚・浦川原・大島の3中学校は閉校し、浦川原中学校の校舎を使用して、新しい学校名でスタートします。

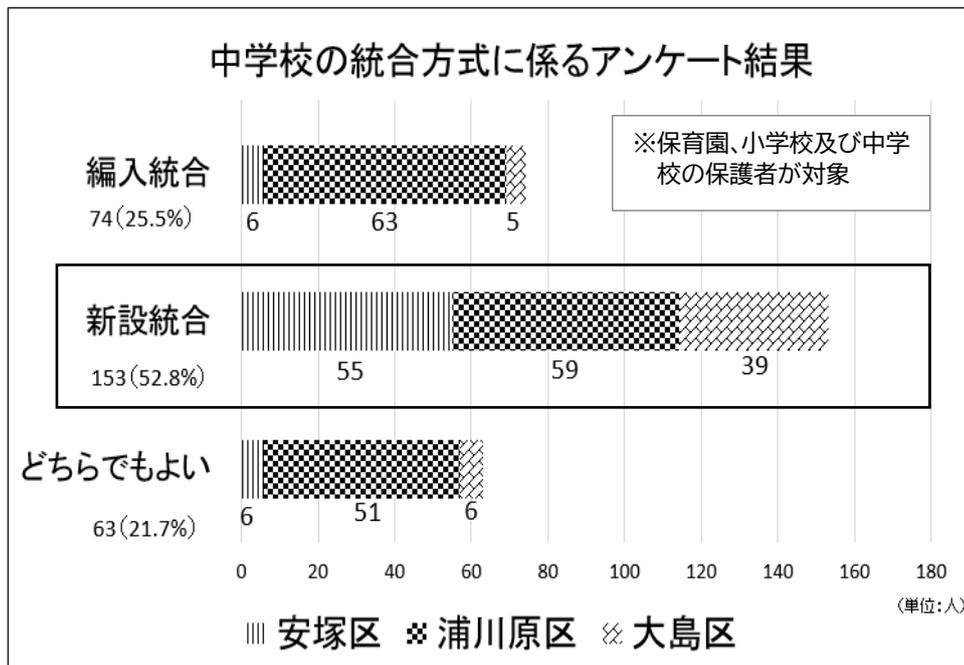
<意見交換会の経過>

1回目の意見交換会では、保護者の意向を確認した方がよいということになり、6月上旬にPTA等により保護者アンケートが実施されました。アンケートの結果は、右図のとおりです。

アンケート結果を踏まえた2回目の意見交換会では、参加者から「新設統合」を希望する意見が多く出されました。浦川原区の参加者からは、「安塚区と大島区の意見を尊重したい」という意見が出されました。

【意見交換会の参加者】 ※各区各団体1名ずつの参加です。

- ・小学校PTA代表
- ・中学校PTA代表
- ・保育園保護者会代表
- ・地域協議会代表
- ・町内会長連絡協議会代表
- ・小中学校運営協議会(CS)代表(安塚区のみ小中別代表)



<今後について>

今後、新しい校名案の募集を進めてまいりたいと思います。統合に向けた進捗状況については、適宜このような「たより」を通じてお知らせしてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、統合は、令和6年4月1日を予定しています。

【問合せ先】

安塚区総合事務所 教育・文化グループ
担当:小林、本山 電話:592-2003

上越市教育委員会教育総務課
担当:小林(秀)、小酒井 電話:025-545-9262

安塚中学校、浦川原中学校及び大島中学校の統合に係る取組について

1 主な取組経過の概要

※区の名前を記載していないものは、3区において実施

期間・期日	取組	概要
R1. 7	教育長と保護者の意見交換会	・小中学校保護者を対象に、教育長が教育環境の現状等を説明
R1. 12～R2. 3	小中学校の在り方に関する PTA によるアンケート (PTA 主催)	・保小中保護者へのアンケートと結果の共有
R3. 4～R3. 9	保護者との意見交換	・学校適正配置の考え方・取組状況の説明と意見交換
R3. 10～R3. 11	保護者代表との意見交換	・保護者との意見交換を踏まえ、市教委が学校の適正配置の方向性案 (中学校は浦川原中学校を使用して統合、小学校は継続協議) について取りまとめ
R3. 12	保護者との意見交換	・市教委が学校の適正配置の方向性案について説明し、合意を得た
R4. 1	地域協議会への説明	・市教委が学校の適正配置の方向性案を地域に説明することについて、合意を得た
R4. 1～R4. 2	町内会長連絡協議会への説明	・市教委が学校の適正配置の方向性案を地域に説明することについて、合意を得た
R4. 2～R4. 3	小中学校運営協議会への説明	・市教委が学校の適正配置の方向性案について説明し、合意を得た
R4. 3	地域への説明	・市教委が学校の適正配置の方向性案について説明し、合意を得た
R4. 4	統合の方針決定 地域へのチラシ配布	・住民の様子から統合することについて一定程度の理解を得られたと判断し統合を決定、今後統合方法について検討することとあわせて周知
R4. 4～5	地域協議会、町内会長連絡協議会、学校運営協議会、保小中保護者代表への説明	・住民説明の報告 ・統合方式に係る意見交換会の周知と代表者選出を依頼
R4. 5. 19	第1回安塚中学校・浦川原中学校・大島中学校の統合方式に関する意見交換会	・統合方式に係る説明 ・統合に向けたスケジュールの説明 ・代表者選出団体内の意見のとりまとめを依頼 ・統合方式に係る保護者アンケートと中学校生徒への学校統合の説明会について確認
R4. 6	中学校生徒への説明会	・学校統合に係る諸事項について説明 ・保護者へ「たより」により実施概要を報告
	統合方式に係る保護者アンケート	・保小中の保護者にアンケートを実施、結果を報告 ・新設統合を希望する保護者が過半数以上
R4. 6. 30	第2回安塚中学校・浦川原中学校・大島中学校の統合方式に関する意見交換会	・保護者アンケートの結果と中学校生徒への説明の様子を報告 ・「新設統合」による統合方式を確認
R4. 7	統合方式の方針決定 地域へチラシ配布	・統合方式を「新設統合」に決定し、統合方式に関する意見交換会と保護者アンケートの結果とともに周知
	地域協議会への説明	・統合方式を「新設統合」に決定したことの報告 ・今後のスケジュールについて説明

2 統合までの主な予定

年	月	内容
令和4年度	8月～9月	地域協議会へ中学校廃止の諮問、答申
	8月下旬～9月中旬	新しい校名公募
	9月下旬	(仮称)3区中学校統合実行委員会設置準備委員会の設置
	9月下旬～11月中旬	校名候補の選定と決定
	11月下旬～12月下旬	浦川原区地域協議会へ新設統合による中学校設置の諮問、答申
	12月以降	(仮称)3区中学校統合実行委員会の設置と統合に向けた諸準備 (校歌・校章、通学路及び通学方法、PTA組織、制服・体操着、後援会組織など) 中学校校長連絡会(中学校合同教育研究会)による新教育課程の作成や 学校管理の検討、事前交流活動や合同授業の計画 浦川原中学校の施設・設備の整備
	3月	学校設置条例改正に係る議会での承認
令和5年度	4月以降	生徒間交流・合同授業の実施 PTA交流活動の実施
	10月～11月	各校閉校式典
	3月	各校PTAや後援会の解散 備品の運搬等

3 その他

【参考資料】

<生徒数推移の予想(特別支援学級在籍児童生徒数を含む)>

令和4年5月1日現在

学校名	安塚中				浦川原中				大島中				安塚中+浦川原中+大島中			
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
R2年度	15	6	18	39	35	27	31	93	4	11	3	18	54	44	52	150
R3年度	6	16	7	29	23	35	27	85	6	3	11	20	35	54	45	134
R4年度	8	7	17	32	13	23	35	71	5	6	3	14	26	36	55	117
R5年度	13	8	7	28	24	13	23	60	6	5	6	17	43	26	36	105
R6年度	5	13	8	26	24	24	13	61	5	6	5	16	34	43	26	103
R7年度	4	5	13	22	27	24	24	75	7	5	6	18	38	34	43	115
R8年度	6	4	5	15	22	27	24	73	8	7	5	20	36	38	34	108
R9年度	6	6	4	16	15	22	27	64	4	8	7	19	25	36	38	99
R10年度	6	6	6	18	24	15	22	61	3	4	8	15	33	25	36	94

※表の色付き部分は、複式学級相当(中学校では隣接2学年合計8人以内で複式学級となる。また、弾力的運用で別の学年を複式学級とすることもあり)。

※令和5年度以降の入学者数は、令和4年5月1日現在の住民基本台帳上の人数から推計。(附属中学校、中等教育学校、特別支援学校、校区外等への通学者を含む人数)。

意見交換会のテーマ等について（案）【R4. 7. 27 時点】

前回からの変更箇所は黄色マーカー部分

(1) テーマ

区分1（町内会・自治会）

- ① 「あなたは、住民の意見が行政に反映されていると思いますか。」という設問に対して、「あまり思わない」または「全く思わない」と回答した人の割合がどの年代においても高く、特に20代以下では「わからない」と回答した人の割合が高くなっている。この結果を見て、どのように感じるか。【アンケート問8より】
- ② 「あなたは、この5年間に、区内で開催された祭りや行事に参加しましたか（見学も含みます）。」という設問に対して、20歳未満では、「参加した」と回答した人の割合が非常に高く、20代から30代では「参加しなかった」、40代から70代では「参加した」と回答した人の割合が高くなっている。この結果を見て、どのように感じるか。【アンケート問9より】
- また、「あなたは、この1年間に、地域の課題について誰かと話をしましたか。普段の暮らしや仕事など、どの場面でも構いません」という設問に対して、「よく話した」または「時々話した」と回答した人の割合が年齢とともに高くなる傾向にあり、20代以下では「あまり話さなかった」または「全く話さなかった」と回答した人の割合が非常に高くなっている。この結果を見て、どのように感じるか【アンケート問10より】
- ③ 「安塚区は安心して住みつづけることのできる町に向かっていると思いますか。それとも後退する方向に向かっていると思いますか。」という設問に対して、どの年代でも「どちらかという後退する方向に向かっていると思う」または「後退する方向に向かっていると思う」と回答した人の割合が高くなっている。この結果を見て、どのように感じるか。【アンケート問13より】
- また、「今後も安塚区に暮らし続けたいと思いますか。」という設問に対して、20代以下などの若い世代では、「あまり暮らし続けたくない」または「暮らし続けたくない」と回答した人の割合が高く、「暮らし続けたい」と回答した人の割合が年齢とともに高くなる傾向にある。この結果を見て、どのように感じるか。【アンケート問14より】
- ④ 自由意見の中で、安塚区が抱える課題として、人口減少と働く場所が少ない点を挙げている人が多い。これを改善するためにどのような取組が必要であるか。【アンケート自由意見より】

区分2（企業等）

- ① 区分1②前段と同様【アンケート問9より】
- ② 区分1③前段と同様【アンケート問13より】
- ③ 区内にお住まいの方、区外にお住まいの方がそれぞれいるが、安塚区の魅力や課題について、どのように考えているか。
- ④ 自由意見の中で、安塚区が抱える課題として、人口減少と働く場所が少ない点を挙げている人が多い。これを改善するためにどのような取組が必要であるか。【アンケート自由意見より】

区分3（区内活動団体及び地域活動支援事業提案団体）

- ① 団体の主な活動内容や活動するにあたっての困りごと等を教えてほしい。
- ② アンケート結果を見て気づいた点等あれば教えてほしい。
- ③ 地域の宝や将来にわたって残していきたいと考えるものについて教えてほしい。

区分4（学校）

- ① 学校生活を送る中で安塚区の学校環境や教育について、どのように感じているか。
- ② 「今後も安塚区に暮らし続けたいと思いますか。」という設問に対して、20代以下などの若い世代では、「あまり暮らし続けたくない」または「暮らし続けたくない」と回答した人の割合が高くなっている。皆さんはどのように考えているか。【アンケート問14より】また、「あなたの知り合いの人で20代～30代の若者から安塚区内でUターン・Iターンをしたいと相談されたら、あなたはどうか答えますか。」という設問に対して、20歳未満では「賛成する」または「どちらかという賛成する」と回答した人の割合が40パーセント近くになっている。皆さんが相談されたら、どのように答えるか。【アンケート問15より】
- ③ 区内から通っている方、区外から通っている方がそれぞれいるが、安塚区の魅力や宝は何ですかと聞かれたら、どのように答えるか。

(2) 実施方法

- ・ 区分ごとに意見交換会を開催する。（計5回）
※区分4の安塚中学校と高田高等学校安塚分校は別々に開催
- ・ グループに分かれて意見交換を行い、その後グループの中で話し合った内容を全体で発表してもらう。
- ・ 意見交換会当日の受付時にくじ引きによりグループ分けを行う。区分1と区分2は4グループ、区分3は2グループ程度に分かれる。地域協議会委員も各グループの中に入り、司会進行、書記等を務める。
※区分4の安塚中学校と高田高等学校安塚分校は別途調整
- ・ 時間配分は意見交換90分、発表30分の計120分とする。
※区分4の安塚中学校と高田高等学校安塚分校は別途調整
- ・ 区分4の安塚中学校と高田高等学校安塚分校については、学校側と調整したうえで実施方法を決定する。
※生徒のみで話し合ってもらう方法やアンケート用紙に記入してもらう方法なども含めて検討

(3) 開催日時

区分	日時
①区分2（企業等）	8月24日（水）午後2時から
②区分1（町内会・自治会）	8月28日（日）午後2時から
③区分3（区内活動団体等）	9月5日（月）または6日（火）午後7時から
④区分4（学校）	別途調整

意見交換会対象者リスト（案）【R4. 7. 27 時点】

前回からの変更箇所は黄色マーカー部分

◆区分1（町内会・自治会）

○各町内会長・自治会長【各1名、計29名】

◆区分2（企業等）

○代表者【各1名、計30名】

職 名
上越市議会議員
上越東農林事務所長
上越東維持管理事務所長
上越森林管理署安塚治山事業所 主事
上越警察署安塚交番所長
東頸消防署長
安塚郵便局長
小黒郵便局長
菱里郵便局長
高田高等学校安塚分校教頭
安塚中学校長
安塚小学校長
第四北越銀行安塚支店長
えちご上越農協安塚支店長
安塚商工会長
(株)スマイルリゾート総支配人
上越市社会福祉協議会 安塚支所長
やすづか学園長
特別養護老人ホーム あいれふ安塚施設長
安塚区地域協議会長
安塚区町内会長協議会長
(公財)雪だるま財団理事長
(特非)NPO雪のふるさと安塚 代表理事
安塚診療所長
安塚保育園長

職 名
(農)ながくら 代表
(農)きらめき 代表
(農)ぼうがね 代表
(株)そごう頸城農場 代表
(農)ファーム直峰 代表
安塚区総合事務所長
U・STYLE(株) 代表取締役【追加】

◆区分3（区内活動団体及び地域活動支援事業提案団体）

○代表者【各1名、計20名】

区内活動団体

団体名
NPO 自然王国ほその村
安塚文化協会
安塚自然友の会
坊金の太杉を守る会
直峰城保存会
女性ネットワーク
そばの会（坊金）
やすらぎの里（伏野）
やすづかスポーツクラブ
手づくり百人協同組合
安塚区老人クラブ連合会（6クラブ）
安塚区子ども健全育成会

地域活動支援事業提案団体

団体名
安塚スキークラブ
安塚観光協会
安塚ゲートボールクラブ
やすづか学園菱里地域支援委員会
山のうえの雪まつり実行委員会
安塚の四季
やすづか花の会
安塚トリットボール普及会

◆区分4（学校）

○安塚中学校【全校生徒32名】

○高田高等学校安塚分校【全校生徒（2・3年生）18名】